

経営比較分析表（令和5年度決算）

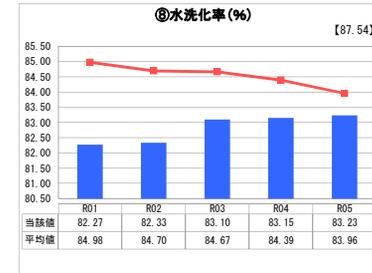
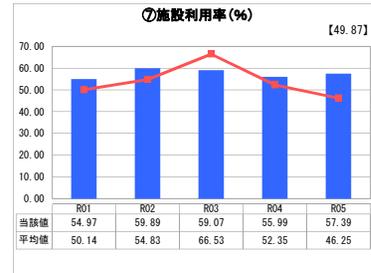
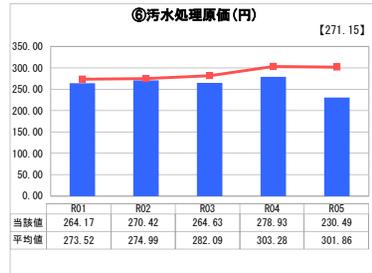
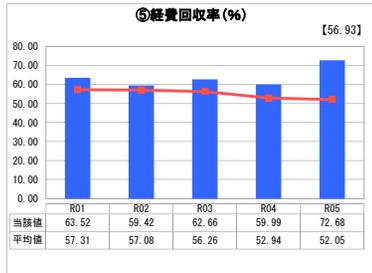
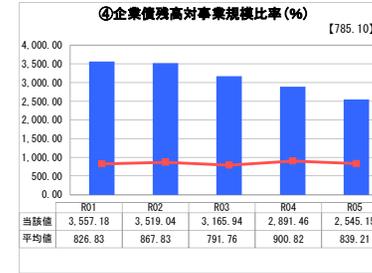
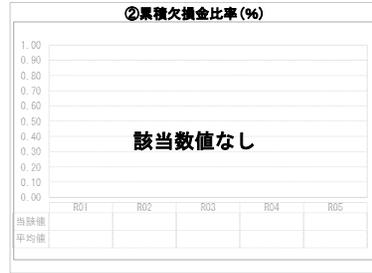
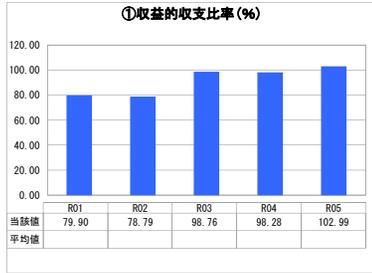
福井県 勝山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.64	101.60	2,783

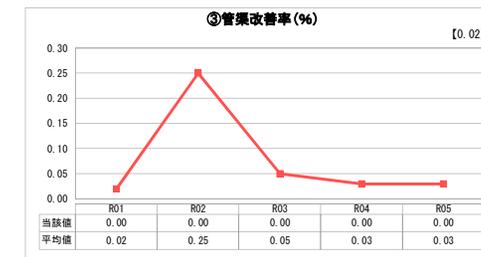
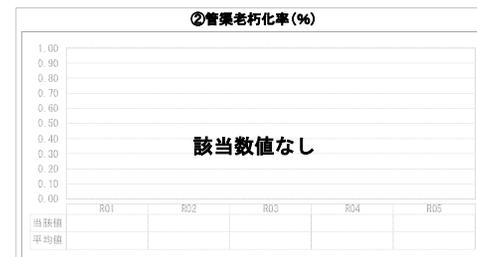
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,483	872.43	24.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,481	1.64	1,512.80

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①「収益的収支比率」については、令和3年度より、資本費平準化債の借入が無くなり、一般会計繰入金が増加したことより大きく増加している。令和5年度は打切決算により4月以降の支払いが含まれず費用が減少、費用の減少が収益の増加や地方債償還金の増加を上回ったことから微増となった。今後は、使用料収入の減少や維持管理等の増加が予想されることから、この比率は減少していくものと見込んでいる。

②「累積欠損金比率」については、該当数値なし。

③「流動比率」については、該当数値なし。

④「企業債残高対事業規模比率」については、大口使用者の使用量増加により営業収益が増加、また企業債現在高の減少により、前年度に比べ減少した。今後は適切な比率となるように努めていく。

⑤「経費回収率」は、打切決算に伴い費用が減少し、また使用料収入が増加したため前年度より増加した。今後も適正な使用料の設定に努めていく。

⑥「汚水処理原価」は、打切決算に伴う費用の減少、有収水量の増加により前年度より減少したものの、施設規模が小さく、維持管理費のコストは高くなる傾向にあるため、今後も効率的な維持管理を実施していく。

⑦「施設利用率」は、平均処理水量が前年に比べ増加したことから、利用率は増加している。今後は人口減少に伴う処理水量の減少が予想されることから、この比率は減少していくものと見込んでいる。

⑧「水洗化率」は、人口減少に伴い、水洗化人口及び処理区域内人口ともに減少しているため大きな変化はない。今後も、水洗化率100%を目指して接続促進を続けていく。

2. 老朽化の状況について

③「管渠改善率」については、当市の供用開始が平成9年であり、管渠も施設から25年程度しか経過していないため、現在の管渠の更新は予定していない。ただし、経年劣化による施設等の修繕が今後見込まれるため、急激な費用が増加することがない様適切な維持管理に努め、費用の平準化を図る必要がある。

全体総括

施設規模の小ささから、維持管理コストは増大の傾向にあり、今後は経費回収率が低下、汚水処理原価が上がっていくことが予想される。今後は公共下水道への接続の検討を行うとともに、適切な施設の整備・更新及び維持管理、適正な使用料の設定に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。